

いもち病は、本田勝負だ!

コラトップ®

ジャンボP



コラトップジャンボPは、
いもち病を、速く、長く、
抑え込みます。



葉いもち



穂いもち



農林水産省登録 第23172号

®はシンジェンタ社の登録商標



●畦畔からパックを**投げ込むだけ。すぐに拡散**し効果がでます。

●散布後、速やかに根から吸収されるので、
散布適期が幅広く**出穂5日前**まで使えます。

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピロキロンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	小包装(パック) 10～13個(500～650g) /10a	葉いもちに対しては 初発20日前～初発時 穂いもちに対しては 出穂30日前～5日前まで	2回以内	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)



コラトップジャンボPの優れた拡散性

コラトップジャンボPは、着水6～8秒後から水溶性フィルムの溶解がはじまり、フィルム内の浮遊性基剤が、速やかに水面を浮遊・拡散します。



水溶性フィルムが
水面で溶け、
速やかに拡散します

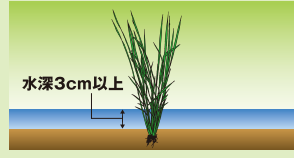
■使用上の注意事項(抜粋)

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 小包装(パック)に使用しているフィルムは水溶性のため、濡れた手で作業したり、降雨等で破袋しないように注意してください。
- 本剤の使用に当っては、田水深を3cm以上にし、水田に投げ入れた後は少なくとも3～4日間は田面が露出しないようそのまま湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお、漏水の激しい水田での使用は避けてください。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10～13個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり効果が劣る可能性がありますので使用を避けてください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

本剤は吸湿性があるため、できるだけ使い切ってください。残った場合は、製品袋の開け口を2度折り返し、テープなどで止めるなど外気との接触を断ち、できるだけ早く使い切ってください。

上手な使い方

- 水管理はしっかりと!**
拡散を安定させるために水深を3cm以上確保してください。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

